

くねっふ 議会だより

空き家の現状把握と対応策について
一般質問 ④ページ

178号



幼稚園での「CAPワークショップ」

—CAPワークショップとは?—

子どもたち自身が人権意識を持ち、暴力から自分を守るための知識や技術を学ぶためのプログラムです。

も	6月定例会で審議した議案	②ページ
く	議決した意見書	⑩ページ
じ	議員研修会・道内視察報告	⑪ページ
	議会の主なうごき/あとかぎ	⑫ページ

平成25年 6月 定例会

6月18日～19日まで

一般会計3,713万円を補正

平成25年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計(第2号)

歳入歳出予算に3,713万7千円を追加し、総額を38億6,288万1千円としました。

■主な歳出内容

- 温泉保養センター分煙所等設置工事
100万1千円を追加
- 児童センター備品購入費
105万9千円を追加
- 新生紀森林組合施設整備補助金
2,770万円を追加
- 末広団地公営住宅建設工事
210万円を追加
- 防災対策事業(消耗品費・備品購入費)
392万1千円を追加
- 中学校教科用教材備品購入費
104万6千円を追加

後期高齢者医療特別会計(第1号)

歳入歳出予算に55万4千円を追加し、総額を7,495万4千円としました。

■歳出内容

- 保険料等納付金(後期高齢者医療広域連合納付金) 55万4千円を追加

介護保険特別会計(第1号)

歳入歳出予算に880万円を追加し、総額を4億9,330万円としました。

■歳出内容

- 国庫支出金等返還金 880万円を追加

水道事業会計(第1号)

収益的支出に52万5千円を追加し、総額を1億5,209万4千円としました。

■歳出内容

- 水道事業会計規程整備支援業務
52万5千円を追加

議員報酬の取り扱いについて

国は、震災からの復興財源に充てるために実施された国家公務員の給与減額措置に準じて、平成25年度の地方公務員の給与削減を求めるため、地方交付税を十分な協議を経ないまま、一方的に削減を推し進めました。

地方自治体では、これまで厳しい財政事情から国に先駆けて給与の独自削減や定数削減を行ってきており、今回のこうした措置は、地方の努力を踏みにじる極めて不合理なものと感じています。

今回の国からの給与削減の求めに対し、町ではこれまで財政健全化の中で進めてきた独自の給与削減や職員の不補充などの取り組みを重視し、職員などに対する新たな給与削減は行わないこととした旨、6月7日開催の全員協議会の場において報告を受けました。

議会としてもこの決定を支持し、議員報酬に関しては平成18年に5%削減、平成20年からはさらに3%を削減してきたことを踏まえ、平成23年から行っている2%削減を継続し、新たな削減は行わないことといたしました。

平成25年8月1日

訓子府町議会議長 橋本 憲治

予算関連質疑応答

Q 新生紀森林組合の加工工場の新設はどんな内容なのか。

A 合併後10年が経過し、その間厳しい事業運営を続けており、特に加工工場の設備の老朽化が課題となっております。

24年から新設を計画し現工場の南側に場所を決定し着工となり、総事業費3億3,946万5千円です。

国庫補助金が1/2、置戸町・訓子府町両町の補助金は1億円です。按分の内訳は、組合員数割10%、面積割50%、基準財政割40%として、当町分は2,770万円と決まり、残りが組合負担となります。完成は、年内12月をめどとしています。

訓子府温泉保養センター分煙所、野菜販売所建設について

Q 建物の位置と広さは。

A 正面玄関に向かって左側に位置し、喫煙室3・24㎡、野菜販売所4・86㎡全室総面積81㎡のログハウス風の建物です。

Q 野菜の出店計画は。

A 訓子府町地域雇用促進協議会の皆さんに全面委託し、使用料は免除とし、無人販売所となります。

Q 建物の目的と役割は。

A 保養センター内は禁煙とし、喫煙室だった場所にアイスクリーム自販機を設置し、分煙することで環境整備の充実を図ります。

野菜販売所を置くことで入浴客の確保と、高齢者の雇用促進を支援したいと考えています。

条例の制定等

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更

原案可決
北空知圏学校給食組合の加入に伴い、規約を変更しました。

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

原案可決
北空知圏学校給食組合の加入に伴い、規約を変更しました。

◆財産の取得

原案可決
情報システム機器等を(株)ズコーシヤから購入することについて同意しました。

○契約金額2,236万5千円

◆財産の取得

原案可決
各小中学校の教育用コンピュータを(株)小柳中央堂から購入することについて同意しました。

した。

○契約金額3,444万円

◆末広団地公営住宅建設工事請負契約の締結

原案可決
末広団地公営住宅建設工事請負契約を久島工業(株)と締結することについて同意しました。

○契約金額5,029万5千円

◆町道路線の廃止

原案可決
北海道開発局で実施している「北海道横断自動車道 網走線」訓子府インターチェンジ整備に伴う交通安全確保のため、路線を廃止しました。

報告

□繰越明許費繰越計算書(平成24年度一般会計予算)の報告

報告了承
道営西富中地区基幹水利施設ストックマネ

ジメント事業など全11事業の事業費計4億140万1千円を平成25年度に繰り越した旨の報告がありました。

□ふるさとおもいやり寄付金等の運用状況報告

報告了承
平成24年度のふるさとおもいやり寄付金等の運用状況報告がありました。

□教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

報告了承
教育委員会から平成24年度の活動状況に関して、点検・評価した旨の報告がありました。

□出納検査結果報告

報告了承
監査委員から4月から6月までの一般会計、特別会計及び水道事業会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異状ない旨の報告がありました。

「追加議案」

◆議員の派遣 決定

議員の派遣を決定しました。

○北海道町村議会議員研修会及び行政視察研修(6月27日～28日 札幌市・滝川市全議員)

○北海道町村議会広報研修会(8月19日～20日 札幌市 河端議員(議会広報特別委員会委員長))

○道内行政視察研修(8月22日～23日 別海町・釧路町 全議員)



一般質問

6名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

空き家の現状把握と

対応策について

町長 ▼ 課題解決に向け調査検討する

に委ねられます。

います。



上原 議員

上原 増えると思われる、空き家の現状把握と、管理に関する対応策を伺います。

町内空き家の現状と、今後の予測について。

町長 空き家関連の調査は実施していないが全国的に問題です。

町の現状は、上水道休止の状況から推計すると、物置利用も含め80件あります。

70才以上の単身者で、長期入院などの上水道休止者を含め、170件で今後も増加します。

上原 空き家活用を含めた今後の方策は。

町長 管理は、所有者

居住地区をコンパクト化する事による、行政の効率化や商店街振興が必要と考えます。

空き家・空き地活用による住居対策は、今後の検討課題と捉えています。

上原 他自治体の対応と町の今後の対応は。

町長 道内8市町村で、条例制定されています。本町においても、課題解決に向け調査します。

人づくりを通じた

農業後継者対策

町長 ▼ リーダー的存在の育成とその継承

上原 情報処理進化の中で、地域を守り農業を継承発展させる人づくりは、町行政と教育行政連携で対策を講ずるべきとの考えから、町長・教育長の考えを伺います。

町長 情報処理機器の進化は著しく、この変化によって世代間交流が希薄になりつつあると認識し、現代社会の抱える課題と考えます。

若い世代が時代に合った取り組み姿は、後継者として確実に育っていることを認識しています。

情報処理の進化は、地域活動や後継者の成長に影響しているか。

上原 人づくり対策の必要性和方向性は。

町長 人のつながりの希薄化・地域活力の低下が問題となっている。青年が自ら学び、仲間とともに高めあうことは極めて重要なことで、組織や団体の取り組みは、人づくりに大きな影響を与えていると考えます。

課題は、組織のリーダー的存在の育成とその円滑な継承です。

上原 農村社会の充実発展の課題と対策は。

町長 一番の目標は、経営もしくは生活の安定であり、精神的安定も経営の安定があつて充実すると思います。技術・生産性の向上を図りながらどのような後世につなげるかが課題です。

生活しやすい環境をつくる努力をします。

上原 社会教育としてどう考えるのか。



期待される社会教育の取り組み

教育長

青年も頑張っているが、熟年者の知恵は町の財産で、継承されるべきだと思います。

調査資料によると、若妻の八割は農業を知らず、経営の話の時に疎外感を感じるとしているが、仕事の打ち合わせなど家族全体を主役にする話し合いが大切。

教育委員会として、変化を見ながら対応を模索していきます。

旧駅周辺整備の安全対策は

どうなるのか

町長 ▼ 安全対策には万全を期していきます



余湖 議員

余湖 工事はどのよう
な進め方を考えている
のか。

町長 北2条線から北
側の2番ホームまでの
区間約100mの改良
舗装を先行して施工し、
南12線までの残り40m

余湖 工事期間はいつ
までの予定になるか。

町長 6月20日以降
に始まる部分と9月以
降に始まる部分とがあ



整備が予定されている旧駅舎周辺

余湖 工事はどのよう
な進め方を考えている
のか。

町長 北2条線から北
側の2番ホームまでの
区間約100mの改良
舗装を先行して施工し、
南12線までの残り40m

余湖 工事期間はいつ
までの予定になるか。

町長 6月20日以降
に始まる部分と9月以
降に始まる部分とがあ

余湖 工事はどのよう
な進め方を考えている
のか。

町長 北2条線から北
側の2番ホームまでの
区間約100mの改良
舗装を先行して施工し、
南12線までの残り40m

余湖 工事期間はいつ
までの予定になるか。

町長 6月20日以降
に始まる部分と9月以
降に始まる部分とがあ

余湖 工事はどのよう
な進め方を考えている
のか。

町長 北2条線から北
側の2番ホームまでの
区間約100mの改良
舗装を先行して施工し、
南12線までの残り40m

余湖 工事期間はいつ
までの予定になるか。

町長 6月20日以降
に始まる部分と9月以
降に始まる部分とがあ

一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。会議録は図書館に備えつけてあります。また、町ホームページ(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>)にも掲載しております。なお、会議録公開については、議会終了後3カ月程度の期間を要します。

安心して住み続けられる町を

どう示すのか

町長 ▼ 広く町民の意見を聴きながら支えたい



工藤 議員

工藤 少子・高齢化、人口減少が全国的にも進み、本町においても

「私たちの暮らしや、町がこの先どのようなようになっていくのか不安」との声も多く聞かれます。誰もが安心して住み続けられる町をどのようにつくるのかを町民に示すことが、将来の暮らしに不安を抱えている方々に応えることになると思うが、町長の考えは。

町長 少子・高齢化、人口減少時代が進行し、税制や社会保障制度をはじめとする様々な制度改正が取りざたされ

るなか、国は将来に安心感を与える方向性を示さず、政局により社会保障などの政策が紆余曲折するなど住民が不安感を覚えていることが実態ではないかと思えます。

町長就任以来「みんなで作る訓子府の元気」「町民にやさしいまちづくり」を政策の基本とし、安心して住み続けられる、安心して子育てが出来るまちづくりを実践してきましたが、今後も「まちづくり推進会議」「夜間町長室」「車座トーク」などの機会を通じ、広く町民の意見を聴きながら教育・医療・福祉行政などを中心に、町民の皆さんを支えられるよう努めていきます。

町長就任以来「みんなで作る訓子府の元気」「町民にやさしいまちづくり」を政策の基本とし、安心して住み続けられる、安心して子育てが出来るまちづくりを実践してきましたが、今後も「まちづくり推進会議」「夜間町長室」「車座トーク」などの機会を通じ、広く町民の意見を聴きながら教育・医療・福祉行政などを中心に、町民の皆さんを支えられるよう努めていきます。

工藤 自立した町、将来にわたって持続可能な町を目指すには、地域経済をしっかりと力強く支える産業の振興が重要と考えるが、本町の課題と併せ町長の見解を伺いたい。

町長 「食産業立国の基盤強化」を本町経済活性化の重点政策に掲げ、生産から加工、流通、販売に至る「食」の総合産業化を目指し、全ての農畜産物を安全・安心としたブランド化を全面に掲げた産業振興を推進していきます。

商業の面でも、無農薬など地場産農畜産物によるクリーンな町のイメージづくりを全面に掲げ、しっかりとした商店街が形成される

まちづくりをめざします。

加工施設の整備や商品開発、食を通じた町内商工業と連携した地域内循環型経済構造の仕組みづくりも必要と考えていますが、そのためには、第一に生産者である農業者の理解と協力が不可欠であり、それ以上に商工業の

方々の努力と理解が求められます。

6次産業化としては酪農・畜産をはじめ地場産農畜産物を利用できる仕組みが一番の課題と考えています。商工業と連携しながら、自立したまちづくりを目指すための活動を支援していきます。

インターネット利用がどこでも可能に

町長 ▼ エリア拡大整備の要請を行っていききたい

工藤 現在は農業者にあっても、経営、営農技術、気象情報、牛の個体管理を含め、農協や各団体組織ともインターネットを利用しながら業務を行っている農家が多くいます。

しかし地域によって十分に利用出来ない所もあります。本町のインターネット

て通信速度が遅くなり、大変不便を感じている状況と捉えています。

工藤 インターネット利用を公平にしてほしいとの町民の声にどう応えるのか。

町長 実践会地区の高速通信化の対応としては現在の携帯関係会社のモバイルルータ端末機利用も有効な手段ですが、今後は高速通信サービスエリアと光回線エリア拡大整備に向けた要請を関係通信会社や国などに行っていきたく考えています。



レク公園芝桜の現状と今後の考えは

町長 ▼ 芝桜の丘の再生をめざす



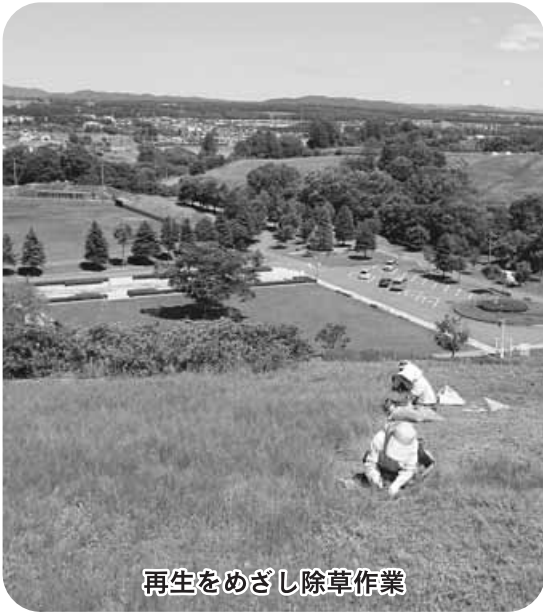
河端 議員

見て訪ねて来たと思われ、町外のグループの人もいました。

過去にも質問しているが、回復どころか年々悪化しています。

河端 芝桜祭りが行われ、町内外から多くの人が集い賑わっていたが、芝桜は雑草に主役の座を奪われていました。

観光パンフレットを



再生をめざし除草作業

町長 現状は、開園以来最悪な状況にあると認識しています。

多くの方から全面的な植え替えや、他の花木への変更についてご意見をいただいています。

昨年度から芝桜の丘を7ブロックに分けて土壌改良をしています。

それによる雑草対策と、本年度は、補植用の若い苗4,300株を取り寄せ補植することにしました。

今後は、それぞれのブロックの結果をもとに芝桜の丘の再生をめざします。

河端 以前に、再生するには2億円かかると聞いたが、費用と年数はどの位かかる見込みですか。

町長 具体的な費用については試算していませんが、年数は10年位は

かかると思います。

河端 以前に、雑草がひどい所をツツジ・レンギョウなどに植え替えた経過があるが、一

部、他の花木に植え替えるなどの考えは。

町長 当面、芝桜の全面再生をめざし、ここ2〜3年で見極めます。

町の活性化対策を どう進めるか

町長 ▼ 商工会と連携し検討していきたい

河端 今年に入り、商店の閉店が相次ぎ、町民にも「訓子府はこの先どうなるのだろうか」と不安感と閉塞感が漂ってきています。

町が元気になり、町民が自信と誇りを持つて暮らすために、町の活性化対策をどのように進めますか。

町長 昨年8月に病院が閉院し、今年の4月以降、ガソリンスタンド、雑貨店、靴店、写真館そして飲食店が閉店若しくは、閉店しようとしている現状です。これは消費が町外に

流出しているだけでなく、流通構造の変化の影響もあります。

また、後継者のいない高齢の経営者も多く今後廃業するところがあるかもしれません。

地域経済の活性化のためには、第一に町内消費をどう増やすか、新たな事業の展開、ネット販売も含めた経営改革など商店主が結束して取り組む必要があると考えます。

商工会と連携を図っていききたいと考えています。

河端 空店舗をシャッ

第2回定例会は、2名の傍聴がありました。

議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。

平成25年第3回定例会は9月中旬頃に開催する予定です。

議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ

ター街としないために誰でも入れる憩いの場として活用するなどの考えは。

町長 店舗の有効活用については、商工会や商店街の皆さんと相談して協力していきたい。

※河端議員はこの他に「町道の安全対策・相内線の速度規制などの考えについて」の質問がありました。

消防団員の人員確保に

向けた取り組みは

町長 ▼ 消防組合や支署などを通じて支援



西山議員

西山 地域住民の生命や財産を守るために、大きな役割を担っている

消防団員が全国的に減少が続いています。本町も例外ではなく「議会報告会」でも、その実状を訴える団幹部の声を聞きました。

町としてその実態をどう捉え、団員確保に

向けた今後の取り組みをどのように考えていますか。

町長 北見地区消防組合訓子府消防団の定員の推移を見ると、昭和57年で77名、平成7年で85名、平成15年には100名、平成15年には現在の105名となっています。

実員の推移は、平成15年には100名でしたが、現在86名で14%の減です。

団員数の減少だけでなく団構成にも変化がみられ、実際に出勤する人数にも関わるので組織力の面で影響があることは否めません。**西山** 先日、団幹部の方々と消防議会議員と懇談会を設け意見交換をしました。

幹部の方々は将来のことを心配しています。団員勧誘にも限界を感じているようです。

町長 団員減少という実態は本町に限らず、組合内の他の団にも見られ、消防力強化を図る観点から、消防組合全体の問題として捉えるべきではないかと考えています。

今後の取り組みとして1つ目は、地域の社会経済情勢の変化や雇用、就業実態をしっか

り認識すること。2つ目は消防力の強化をどのように維持・増強していくか。

3つ目は、団員の確保については、基本的に団が主体的に行って町は、消防組合や支署などを通じて支援していくことが大切と考えています。

また今後100年をひとつくりとして団幹部の方々との組織的な話し合いをしていきたいと考えています。

空店舗を高齢者の居場所に活用への考えは

町長 ▼ 今後商店街や商工会と協議したい

西山 町民目線で身近な施策について3点伺います。

町民にとって身近な窓口サービスをより快適で分かりやすくする工夫が必要と思うか。

町長 窓口サービスの基本は職員個々にあり

クレーム処理や、個別の相談などさまざまな事案を取り扱っている

ので、今後課内体制の充実や連携など、職場全体で適切で円滑な対応が図られるよう努めます。

西山 身体に障がいのある

方々がレクリエーション公園のバーベキューハウス近くに簡易トイレの設置を望んでいるが。

町長 日常的には公園入口と管理棟のトイレで充足していると思うが、イベント主催者側の声を聞いて、車いす対応の簡易トイレの貸し付けの情報も提供していきたい。

西山 町の中心部に空き店舗が増えてきたが高齢者の居場所づくりに活用できないか。

町長 現在道道沿いに4つの空き店舗がありその内の1つを、多目的なサロンとして利用できないか所有者と相談しています。

買い物などの休憩、絵画・写真などの展示、小さなコンサートなど今後、商店街や商工会関係機関、団体とも検討を進めていきたい。



団員不足が懸念される消防団

本町の教育の取り組みは

教育長 ▼▼ 学校の主体性や情報共有の大切さを



小林 議員

ているが、本町の現時点でのいじめ問題と対応については「スクールカウンセラー」の取り組みについては。

教育長

「スクールカウンセラー」については、いじめや不登校など悩みを抱える子どもの相談を受ける専門家として全国の小中学校の1万9千校に配置されております。

対応については、各学校で実施している年2回のアンケート調査や日々の見守りを実施する中で、学校では担任だけではなく全教職員が子ども達に目を配り学校全体で児童生徒から発するシグナルを見逃さぬよう観察すること、いじめの確認及び未然防止に努めていきます。

教職員や保護者にもアドバイスすることもあり、臨床心理士が担当することが多く、近隣では北見市でカウンセラー4名を配置し、相談活動を展開しております。

現在の状況と取り組みについて伺いたい。とくに最近、いじめ問題が深刻な事態となり、解決がますます複雑化していると思いません。

本町を含めた学校数の少ない町では、専任配置をしていない学校がほとんどで、対応を要する事案が出た場合教育局に連絡しカウンセラーの緊急派遣を依

「スクールカウンセラー」への期待が高まっ

教育委員会では、学校との情報共有が最も大切と考えており、校長会議及び随時報告などを通じて、いじめ問題を含めて日頃から情

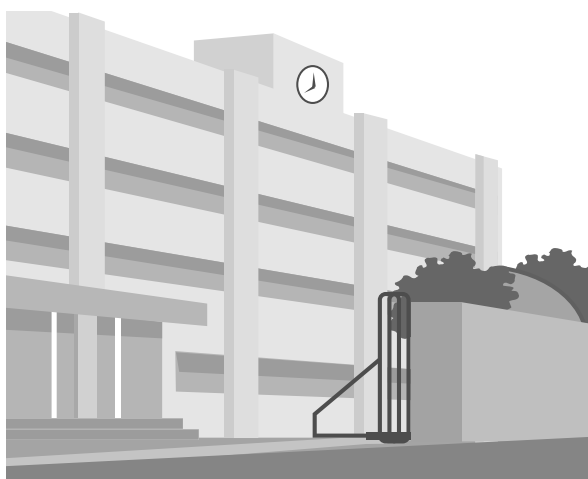
報交換を行っておりま

頼することになってい
ると、専門的なアド
バイスが必要な事案が
起こった場合に備えて
4回分のカウンセラー
派遣に係る経費を計上
しています。

お互いを認め合うコミ
ュニケーションが重要
だと思っています。
いじめ対策はこれで
万全ということはない
と考えております。

いじめの原因やその
背景はさまざま、児
童生徒の問題、家庭の
問題、社会的風潮の影
響など、それらが複雑
に絡み合っていること
が多いですが、最も大
切なことは子ども同士
が相手を深く理解し、

どこでも起こりうるも
のであるという認識を
もって、今後も教育委
員会として学校や家庭、
地域の皆さんとも緊密
な連携を図りながら早
期発見、未然防止、的
確な対応に努めていき
ます。



「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなど
どんなことでも結構です。
どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎ 47-2184・FAX 47-2600 ✉ gikai@town.kunneppu.hokkaido.jp



所管事務調査（原案可決）

総務文教・産業建設の各常任委員会から、所管事務調査について、平成25年度閉会中も継続調査ができるように議長に対し、議決の願い出があり、可決しました。

総務文教常任委員会（調査事項）

- | | |
|---|-----------------------|
| (1)入札執行状況 | (6)児童センターの運営 |
| (2)今後のまちづくり | (7)各種予防業務の実施状況 |
| (3)国民健康保険事業の運営（後期高齢者医療制度含む） | (8)子育て支援センターの運営 |
| (4)町税の収納及び賦課状況・滞納繰越・不納欠損処理状況等（町営住宅使用料は除く） | (9)保育園及び幼稚園の運営 |
| (5)各種福祉政策 | (10)町営温水プールの維持管理 |
| | (11)図書館及びくねつぼ歴史館の管理運営 |
| | (12)その他委員会の所管に関する事項 |

産業建設常任委員会（調査事項）

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1)農業振興 | (7)建築及び土木工事の執行状況 |
| (2)畜産振興 | (8)下水道事業の運営 |
| (3)中小企業の振興 | (9)上水道事業の運営 |
| (4)堆肥供給センターの管理運営 | (10)道路、河川の維持管理 |
| (5)温泉保養センターの管理運営 | (11)公園の管理状況 |
| (6)町営及び町有住宅の維持管理 | (12)町有林の維持管理状況 |
| | (13)その他委員会の所管に関する事項 |

橋本憲治議長 自治功労者表彰受賞

町議会議員として、25年以上（議長及び副議長職の換算がある。）在職し、地方自治振興に寄与された功績に対して、北海道町村議会議長会から、表彰されたもので、6月19日議会広報特別委員会において、上原副議長より表彰状が伝達されました。

議決した意見書

—議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に提出しました。—

◆札幌航空交通管制部の存続・充実を求める要望意見書

1. 北海道での航空行政の枠組みを堅持し、札幌航空交通管制部を存続させること。
2. 広大な北海道の航空行政を充実させるために、国の出先機関である札幌航空交通管制部を充実させること。

北海道町村議会議員研修会

6月27日(木) 札幌市 コンベンションセンター

6月27日、北海道町村議会議員研修会が札幌市で開催され、9名の議員が参加しました。

鳥取県知事・総務大臣を務めた片山善博氏による「議会改革に期待する」と、政治アナリスト伊藤惇夫氏による「今後の政局・政治展望」と題した講演がありました。

片山氏は、自らの経験をもとに、地方分権改革と議会の役割・議会の手エック機能不足により起きたさまざまな事例をあげて話されました。

特に、大津市のいじめによる自死事件については、教育委員会だけの問題ではなく、教育委員の選任に同意した議会にも責任があるとの話に、改めて責任の重さを感じました。

伊藤氏は、40年にわたる政党・政治家との関わりの中から、政界の裏話、アベノミクスの現状と今後の課題について話されました。

野党が非力な状態で迎える参院選挙後の政治展望は、時宜にかなった内容でとても参考になりました。

(河端)



北海道町村議会議員研修会

花・野菜技術センター視察

6月28日(金) 滝川市 花・野菜技術センター

滝川市の東部にある花・野菜技術センターは、農業者や技術指導者のために、花・野菜の技術研修を行う目的で設立された農業研究本部です。

広大な面積の中で、花や野菜の試験研究が進められており、北海道農業への研究成果が期待される場所です。

特にメロンの開発の成果は顕著で、新品種を作りあげ、今まで、訓子府町で栽培してきた「ルピアレッド」よりえそ班点病に強く、甘さ・食味・果形ともに優れていると場長が力説しておられました。

品種名は「北かれん」で、ぜひ、訓子府でも栽培をしていただきたいと場長の新品种への思いと期待を研修の中で感じました。

(小林)



場長から説明を受ける



センター全景

